

みんなでごみを1,000トン削減

町では、新しい焼却施設の知多南部広域環境センターの完成(4年4月)に向けて、可燃ごみを1,000トン削減するという目標を持っています。

たけとよ エコだより

なぜ、ごみを削減しないといけないの？

知多南部広域環境センターは、半田、常滑、美浜、南知多、武豊の2市3町で共同して建設を行っていますが、新しい焼却炉は現在の焼却炉の合計よりも小さく作ります。

そのため、2市3町がそれぞれ目標を立てごみ減量に取り組むことになりました。

▶ 問合せ 役場環境課



リサイクルン

焼却炉を小さくすることで、建設費も運営費も少なくなります。

1,000トン削減できないとどうなる？

もし、削減できないと、焼却できずにごみがあふれてしまう恐れがあり、施設の運営費が余分にかかる可能性があります。そうならないためにも、ごみ減量にご協力をお願いします。

ごみに関係する費用は、小中学校の維持にかかる費用よりも多いです。

ごみへの費用が余分に掛かると本来の事業ができなくなるかもしれません。



かめじい

今できることは？

平成30年度の実績で可燃ごみ減量の目標まで、500トンの差があります。

ごみを減らすために、みなさんに3つお願いします。



リサイクルン

ごみになるものは少なくし、資源になるものは分別してごみを減らしましょう。

3つのお願い

1 生ごみの水キリ

生ごみには、70~80%の水分が含まれていますので、捨てる前のひと絞りでごみを軽くすることができます。



水キリの道具で簡単に絞ることができます。詳しくは、役場環境課へ。

2 紙類の分別

きれいな紙は、リサイクルできます。紙類の指定袋に入れて出してください。



クリップやビニールがついていても、そのままリサイクルできます。

3 プラスチック製容器包装の分別

商品を包むプラスチック製の袋や入れ物はリサイクルできます。プラスチック製容器包装の指定袋に入れてください。



汚れている場合は、使ったティッシュ等で拭く、水洗いする等してください。